

コラム：現役部員の家族インタビュー①

～日頃より当部を支えて下さっている保護者の皆様に感謝を込めて～

大会がある度にグラウンドへ応援に駆けつけてくださる保護者の皆様の中から、現役2家族にインタビューさせていただきました。

第40代 小山家

① 理科大ソフトボール部の印象

他の大学に比べるとチャラチャラした学生がいない。聞いてみると、監督に指導されているとのこと。守れる素直な子が多いのだな。という感想と、監督と選手の良い信頼関係があるのだと感心しました。

また、40年の歴史を築いてきた中で、先輩をみて、後輩が続くという良い伝統が代々受け継がれているとのこと。この学校のソフトボール部で良かったと思いました。

② 高校の部活と比べての違い

高校の時は、サッカー部と野球部に占領された校庭で、ソフトボール部は満足な練習もできず、離れた川原まで毎日通っていましたが、理科大には素晴らしい専用グラウンドとトレーニングルームが完備されており、恵まれた環境で部活を行えていると思います。限られた時間で無駄のない練習を行う。理科大生らしい練習内容だと思います。

③ 理科大ソフトボール部に入ってから成長

一言で言うなら大人になりました。入学してから一人暮らしも始め、自炊・洗濯などよくやっていると思います。また、プライベートの時間を割いて、練習や会議など自分で考えて行動することが出来るようになったと思います。

良い監督、良い先輩、後輩に恵まれ、試合の後の『応援ありがとうございました。』のお礼は心に響きます。息子が感謝の言葉を表現できる人になったことを嬉しく思います。ここで得たものは、社会に出てからもいい経験となり、より努力を惜しまない人間になることと期待しています。

